

九条北小学校 校長室だより

NO.42 令和2年7月2日



7月に入りました。7月といえば、夏を迎える月というイメージです。九条北小学校の中庭や校舎周りの木々から、早、セミの鳴き声が聞こえてきました。例年より早い鳴き声に、少し驚いています。

さて、7月のことを陰暦では「文月（ふづき・ふみづき）」と呼びます。その語源は、短冊に歌や文字を書き、書道の上達を祈った七夕の行事に因んだ「文披月（ふみひらきづき）」が転じたものというのが有力な説だそうです。

★ 6年生～思い出に残る写真を！ ★

7月2日（木）、今日は、朝から6年生の卒業アルバム写真を撮影しています。朝は、中庭の池の周りで撮りました。そこから、学級写真や個人写真・グループ写真、そして、委員会活動の写真と、たくさんの種類の写真撮影をしています。写真屋さんの声かけに、6年生も自然な笑顔になっていました。思い出に残る写真が、たくさん撮れました。



★ 海遊館にベビーフーム～ペンギンとアシカに赤ちゃん誕生 ★

新型コロナウイルスの感染拡大を受けた臨時休館から再開した大阪市港区の水族館「海遊館」で、**ミナミイワトビペンギン**と**カリフォルニアアシカの赤ちゃん**が相次いで誕生したそうです。まだ入館者数を制限している中で、久しぶりの明るい話題。「愛らしい姿を、ぜひ見にきてほしい」と話しているそうです。

今月16、17日に相次いで孵化（ふか）したミナミイワトビペンギンのヒナ2羽は「フォークランド（マルビナス）諸島」水槽で公開されています。孵化時の体重は1羽目が68グラム、2羽目が62グラムだったそうですが、26日時点で380グラムと189グラムに成長。ふわふわした綿毛（めんう）に覆われた毛玉のような姿で、親鳥に抱かれて元気に鳴き声をあげているとのこと。

ミナミイワトビペンギンの繁殖は、世界でも珍しい例のようです。カリフォルニアアシカの赤ちゃんは、24日に誕生したばかり。25日時点で体重約9キロ、体長70～80センチで、性別はまだ分からないそうです。母親は「スマレ」、父親は「ミッチ」で、母子ともに異常はなく授乳の様子も確認されているようです。同館でカリフォルニアアシカが出産するのは3年連続。今回を含めて16頭が生まれているそうです。

